

令和6年11月21日

鳥取県知事定例記者会見

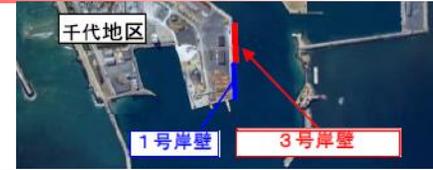
11月補正予算(案)の編成

総額 3,820百万円

◆鳥取港クルーズ客船係留施設改良事業

8,000千円

これまでに鳥取港に寄港した最大のクルーズ船は「ぱしふいっくびいなす」(船長183.4m、総トン数2.7万トン)
⇒ これを上回る5万トンクラスのクルーズ客船の寄港を可能とするため、
3号岸壁前面の係留場の浚渫工事(7.5m→8.0m)を実施し、鳥取港を拠点とした人流拡大を図る



◆県立美術館開館(R7.3.30)に向けたコレクションの充実や地域一帯の賑わい創出

「開館特別」プレミアム共通券

1,500千円

周辺観光施設と連携した
共通パス券を発売し、開館を契機とした周遊を促進

【プレミアム料金】

各館通常料金の50%程度まで値下げした額で販売予定

<3館共通> (大人2,000円、こども500円)

県立美術館、円形劇場、アート格納庫M (株)丸十運営

<5館共通> (大人3,000円、こども1,200円)

県立美術館、円形劇場、倉吉博物館、なしっこ館、

小川氏庭園「環翠園」

【販売予定期間】 令和7年3月上旬～6月15日

美術作品購入(合計74点)

268,427千円

<現代洋画>

山下清(鳥取砂丘)

1956年、山下清が鳥取を訪れた際、
鳥取砂丘から賀露を描いた作品

<<その他購入作品>>

近世絵画7点、工芸7点、現代美術
12点、近代日本画47点



国の経済対策の動向

<国の「総合経済対策」の3つの柱> (10/4石破総理指示) ※政府は11月中に総合経済対策の策定、裏付けとなる補正予算案を28日召集の臨時国会での成立を目指す

- 物価高の克服(重点支援地方交付金、低所得者世帯向けの給付金等)
- 日本経済・地方経済の成長(地方創生2.0、賃上げ環境整備等)
- 国民の安心・安全(防災・減災、国土強靱化、こども・子育て支援等)



県の経済対策については、国の動きに即応できるよう
弾力的・機動的に予算編成を検討

※「年収の壁の見直し」や「トリガー条項の凍結解除」による本県影響試算

▲約94億円(内訳) 個人県民税▲49億円、地方交付税▲18億円、軽油引取税・地方揮発油譲与税▲27億円

(上記以外の市町村分影響▲約87億円(内訳) 個人市町村民税▲74億円、地方交付税▲12億円、地方揮発油譲与税▲1億円)

淀江産業廃棄物処分場の設置許可

● 11月18日、鳥取県環境管理事業センターからの設置許可申請に対し許可

- ・施設の安全性など、許可基準への適合を中立的かつ厳格に審査
- ・廃棄物処理法が求める以上の分野（技術上の基準、経理的基礎）の専門家からも意見聴取

■ 審査結果 ▶ **法の求める基準（安全な構造、生活環境保全に配慮等）に適合**（専門家の意見）下記の理由から許可基準に抵触するとの意見なし

地下水	<p>● 地下水の調査・予測・分析の結果は妥当と判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水状況や設置に伴う掘削の深度から、埋立地の設置による周辺利水への影響は小さいと予測 ・県の地下水等調査で、計画地の地下水は福井水源地に向かっていない
遮水構造 (汚水の漏水対策)	<p>● 地下水等の汚染防止のための十分な遮水構造と判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重の遮水構造（法定の二重遮水シート構造＋ベントナイト混合土（遮水機能がある粘土）） ・遮光マット等により保護し、長期間、遮水機能を維持
汚水・雨水の集排水	<p>● 大雨時の、浸出（汚染）水・雨水の集排水可能な設備、十分な調整能力を有する調整槽と判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集排水設備は、50年に1度の大雨時にも集排水可能な設計 ・調整槽は、過去45年の降雨データから、必要な調整能力を有する
汚水処理	<p>● 浸出水を排水基準に適合（浄化）できる水処理施設と判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な処理工程に逆浸透膜（RO膜）処理を加えた十分な水処理工程 ・処理後の水は法定基準を満足し、周辺河川の水質に影響を及ぼさない
地盤対策	<p>● 処分場設備の沈下防止対策として妥当と判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレロードと砕石置換を併用する地盤対策工法の選定は適切 ・対策後の沈下量の解析結果は妥当

（専門家からの施設設置及び維持管理等において留意すべき意見）

⇒ 熱溶着に留意した遮水シートの施工、モニタリングデータからの変化傾向の把握、住民に分かりやすい情報開示 など

許可後の安全性担保と地域振興

安全・安心確保のための監視体制の整備（11月補正予算案：100万円）

長期間にわたる処分場の安全性を確保するため、廃棄物処理法による通常の検査等に加え、県として特別な監視体制を構築し、専門家も交え中立的な立場でセンターに対する適時適切な監視・指導を実施

○安全監視顧問（仮称）の設置

専門家からなる安全監視顧問を設置し、県によるセンターの監視・指導等に係る客観的かつ専門的見地からの助言等をいただく

※想定分野：処分場の設置・管理、水質

○監視・モニタリングの体制整備

法令に基づく通常検査に加え、独自の周辺環境モニタリング（水質検査）や、工事の段階毎の検査回数を増やす等、特別な監視モニタリング体制を構築する（今年度は、施設設置前から周辺環境モニタリングを実施する）

周辺整備事業の限度額の引き上げ

○今後、周辺整備事業（地域振興）を行うにあたり、他県の交付額や物価上昇等を勘案し、平成12年に定めた交付金の限度額を引き上げ

淀江産業廃棄物管理型最終処分場の場合	改正前	改正後
埋立容量：25万m ³ 以上	2億円	7億円

※その他の区分等についても交付金の限度額を改正

＜周辺整備事業への交付額の例＞

・【産業廃棄物管理型最終処分場】エコグリーンとちぎ(栃木県)

民間施設の場合の交付金の限度額は2億円となっているが、公共関与の処分場は対象外であるため、令和2年度からの県営処分場の設置にあたって、地元の要望に応じて10億円を支出

島根原発2号機の特別監視体制

- 県、米子市、境港市は24時間体制で監視・確認
- 重要な段階では中国電力と連携を強化し、幹部職員が現地立会し安全確認
- トラブル時は即座に現地に急行し確認

中国電力は再稼働に向けて使用前事業者検査を実施中

<これまでの作業>

- ・燃料装荷(10.28~11.3)
⇒危機管理部長立会確認(10.29)

<現在の作業>

- ・起動前準備(11月~12月)
※圧力容器復旧作業、圧力容器漏えい検査
格納容器復旧作業 ⇒中国電力の定期報告で適宜確認

<今後の作業>

- ・原子炉起動(12.7予定) ⇒幹部職員が立会確認
- ・発電再開(12月下旬予定)
- ・営業運転(来年1月上旬予定)



県外への資機材展開訓練

- 能登半島地震の影響を受けた富山県の原子力防災訓練に参加

11月24日(日)、富山県原子力防災訓練(氷見市)
本県は車両検査部分(汚染検査)訓練に参加

- 原子力災害時の原子力防災資機材の支援

国の資機材相互融通制度

他地域への資機材の展開能力の確認、輸送能力の向上を図る

- 本県の原子力防災支援基地から富山県(志賀原発の周辺自治体)に輸送

避難退域時検査用資機材(サーバイメータ、防護服等)
車両検査用資機材(車両用ゲートモニタ等)



特定重大事故等対処施設に係る対応

- 特定重大事故等対処施設

重大事故対策に加えテロ対策(意図的な航空機衝突等)施設の設置義務
※可搬式対策設備等のバックアップ施設(常設)

- ・原発本体施設の設工認可から5年以内設置(島根2号はR10.8まで)

- 主な設備と機能

- ・原子炉建物との同時破損を防止するため離隔距離を確保
- ・格納容器圧力逃し装置加圧破損防止機能
- ・注水設備: 炉心の冷却機能
- ・緊急時制御室: 本設備の制御機能

- 設置変更許可(R6.10.23)

中国電力から県に報告(安全協定)、島根県から意見照会(覚書)

<今後の対応>

- 国の審査結果について、原子力安全顧問や米子市、境港市とともに内容を確認

- 住民や議会の意見を踏まえ、中国電力に安全を第一義として安全協定に基づいて意見

- 原子力安全顧問会議

11月21日(木) 県庁災対室

- 原子力安全対策合同会議

11月24日(日) 米子ワシントンホテル

日本創生の実現に向けた全国知事会の動き 11/25(月)

全国都道府県知事会議（政府主催）@総理官邸

◇日本創生に向けた人口減少対策をはじめ、地方税財政、子ども・子育て政策、災害対策・防災、地方分権等の重要課題について、石破内閣総理大臣や関係閣僚との意見交換を実施

⇒**人口戦略対策本部長として、若者や女性にとっても魅力ある地域社会の構築に向けた人口戦略の展開、国民運動を提起**

全国知事会議（知事会主催）@都道府県会館

◇**人口戦略対策本部に、新たに設置した「日本創生に向けた若者・女性が暮らしやすい地域等政策研究・推進チーム」の今後の活動方針を報告**

【政策研究・推進チームで検討・推進する事項（案）】

- ・若者や女性が安心して働き暮らせる地域づくり
- ・少子化に歯止めをかける子ども・子育て政策
- ・企業・大学の地方への分散など、分散型社会の構築
- ・人口減少下における持続可能な生活環境づくり
- ・地域産業の高付加価値化、雇用環境向上
- ・経済界、労働界、有識者等と連帯した運動推進

予算審議や骨太方針の策定など、今後の国の動向を踏まえ、機動的かつ戦略的に国に政策を提言

国への要望活動(県版地方6団体) 11/26(火)ほか

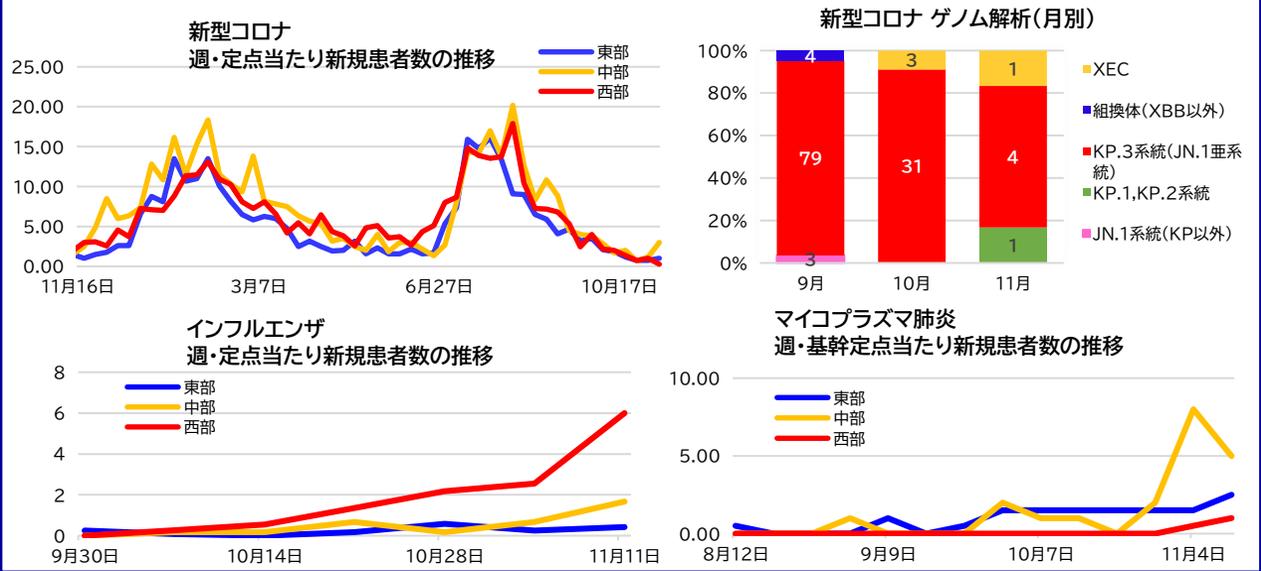
高規格道路ネットワークの整備促進、地方創生のさらなる推進、子ども関連施策の充実、持続可能な賃上げ・物価高対策等を関係各府省へ要望

新型コロナ等の感染症発生動向

【**新型コロナ**】(11/11~17) 全県1.14人/東部1.00人 中部3.00人 西部0.27人
 ・患者数はかなり低い水準ながら、中部で増加の兆し
 ・オミクロン株が流行中
 引き続きKP.3系統(JN.1亜系統)が主流 **10月にXEC株を県内で初確認(3件)**
 (XEC株)・KS1.1(JN.1亜系統)とKP.3.3の組換え体 ※WHO分類「監視下の変異株」に該当(KP.3と同様)
 ・オミクロンKP.3.1.1株よりも高い免疫逃避能、伝播力
 ・東京都のゲノム解析結果によれば、9月末~10月にかけてXEC株の割合が増加
 ・世界でもヨーロッパを中心にKP.3系統に次ぐ流行株
 ⇒今後、本県においてもXEC株が増加する可能性あり

【**インフルエンザ**】(11/11~17) 全県2.79人/東部0.42人 中部1.67人 西部6.00人
 ・11月上旬から流行期入り **特に西部で感染拡大中**

【**マイコプラズマ肺炎**】(11/11~17) 全県2.40人/東部2.50人 中部5.00人 西部1.00人
 ・10月以降、東部等で継続して患者報告 11月に入り、特に中部で増加



新型インフルエンザ等対策訓練

11/22、国内で新型インフルエンザの患者が確認された場合を想定し、県の初動対応を確認するため、関係機関と連携した対応訓練を実施 ※今後、国と連携した訓練も実施予定
 (訓練内容)①県対策本部運営訓練 ②感染疑い患者搬送訓練(鳥取市保健所⇒中央病院)

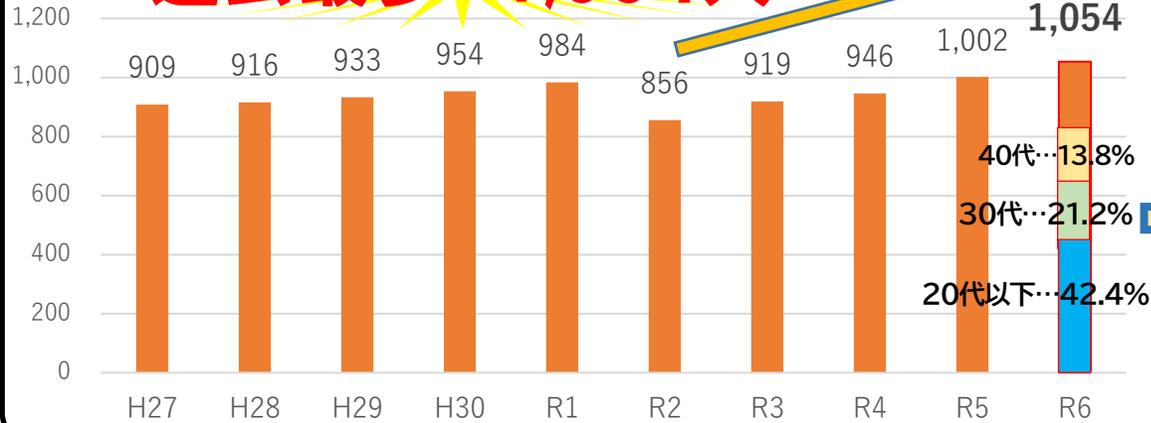
令和6年度上半期(4月～9月)移住者数

移住先としての鳥取県の注目度が上昇中

- 移住相談件数(上半期)…R5:869件 → R6:1,045件(20%増) コロナ禍以降では最多
 - とっとり暮らし体験ツアー利用件数…R4:88件 → R5:131件 過去最多
- ※R6(上半期)も76件と好調

- 10代～40代の若者・子育て世代が約8割
- 前年度に引き続き、Iターン者の割合が高い傾向(Iターン者:52.6%)
 - ☞ 「住みたい田舎ベストランキング」(宝島社『田舎暮らしの本』)など、各種媒体における県内自治体の高評価も後押し
 - ☞ 一部自治体では、コロナ禍以降、外国からの就職・移住も増加傾向

過去最多 **1,054人**



若者のさらなるUターン・定住に向けたアクション

令和5年度末 本県出身大学生等の県内就職率

- ◆ 県内大学等卒業生…**28.9%**(△0.2%)
- ◆ 県外大学等の卒業生 (Uターン就職率) …**35.1%**(△3.6%)

※括弧内は対前年比

神戸薬科大学との連携協定(12月26日)

本県の地域医療を支える薬剤師の育成及び確保を図るため、神戸薬科大学と連携協定を締結します。



神戸薬科大学で、令和6年度入学生から本県を含む4県出身者に対し、授業料減免、生活支援等を行う「地域枠選抜制度」(卒後は9年間、県内勤務が条件)が創設されたことを契機に協定を締結

▶ 神戸薬科大学の取組

- ✓ 学生や保護者へ県内での就職イベント等を周知
- ✓ 学生へ県内でのインターンシップやふるさと実習への参加の呼びかけ 等

▶ 鳥取県の取組

- ✓ 薬剤師に関心を抱く県内高校生へ地域枠選抜制度を紹介
- ✓ 大学主催の合同企業説明会への参加 等

若者の声も聞きながら、若者Uターン・定住に向けたアクションを実践

若者の声

- ◎地域への愛着にはイベント等で地域・企業との濃い繋がりがづくりが必要。
- ◎「緩く繋がり続ける」のがポイント。首都圏等のキーパーソンとなり得る出身者等に繋がりの“ハブ”になってもらうのが有効。

- 成人式等の機会をとらえたUターン・定住キャンペーンの実施(R7.1～)
- 県内の市町・企業等が一堂に会する最大級の移住・就職イベント「BIG相談会」
- 首都圏・関西圏の若者(出身者)を中心とした“緩やかな仲間づくり”を目指す「とっとりへ ウェルカニ ネットワーク」

中山間地域の病院薬剤師確保に向けた『奨学金返還助成制度』を創設

『中山間地域の病院における薬剤師確保』と『薬剤師のキャリアアップ』を両立することができる**奨学金返還助成制度を創設**

本日より募集開始
薬学部学生へ周知

■現状

中山間地域の病院では深刻な薬剤師不足が生じている

<中山間地域の病院からの主な意見>

- ▶ 薬剤師の定年退職後の補充が課題
- ▶ 奨学金を借りている薬学生は、病院よりも給与の高い民間の調剤薬局を選択する傾向が強い
- ▶ 症例数の少ない中山間地域の病院ではスキルアップが難しいと考えられている

鳥大病院がスキルアップに全面協力

→ 認定薬剤師資格取得に必要な多様な症例、患者の態様に応じた薬剤の種類などの知識等を鳥大の経験豊富な薬剤師が指導

鳥取県中山間地域医療人材（薬剤師）確保・育成事業	
対象者	地域病院に就業した薬剤師 岩美病院 智頭病院 三朝温泉病院 西伯病院 日野病院 日南病院
助成額	最大240万円 （県が薬剤師に助成、在学中の4か年度分が対象、補助率10/10）
助成要件	病院が定める育成プログラムに基づき6年間就業 育成プログラムに基づき、地域病院での勤務と並行して、鳥取大学医学部附属病院で多様な症例を経験 例）週4日 地域病院勤務 1日 大学病院で研修受講
対象奨学金	日本学生支援機構奨学金、鳥取県育英奨学資金 等
募集人員	要件 ○地域病院に就業した薬剤師 ○助成対象奨学金を借入れ返還予定又は返還中 ○申請時における年齢が35歳未満 など

地域病院での薬剤師確保

薬剤師の経済負担軽減

薬剤師のキャリアアップ

冬期における道路交通確保体制

除雪管理体制・情報提供体制の強化

- ・ 雪ナビ用カメラを増設（R5:255台⇒R6:266台(+11台)）して管理体制・情報提供体制を強化
- ・ 雪ナビがアクセス集中に耐えられるようサーバー改善
 ※サーバ-のOSとメインプログラムを処理速度の速いLinux（リックス）へ変更

【関係機関の情報共有の強化】

大雪が予想される場合は、各道路管理者、警察等が常時リモート接続により情報共有し、スタック車両等が発生した場合でも迂回路確保など迅速に対応

鳥取道の通行止めに伴う国道373号への車両流入抑制

鳥取道が通行止めとなった場合

⇒ 県境の志戸坂トンネルも通行止め

- 国道53号智頭宿交差点に誘導員を配置し、迂回誘導
- 岡山県側にも誘導員を配置し、県境に向かっての車両流入を抑制(岡山県対応)

※国、NEXCOと連携し、広域的な迂回を呼びかけ

今冬の降雪見込みと関係機関との連携

- ・ 降雪量は日本海側では平年並みか平年より多い予想
 ラニーニャ現象の特徴が明瞭となり、冬型の気圧配置が強まる時期あり
- ・ 降雪期の関係機関連絡会議 11月27日災害対策本部室
- ・ 危険木の事前伐採を推進 R6実施予定：27地区（R5実績：29地区）

広報活動等

- ・ ホームページやあんしんトリピーメール、SNS等により、大雪時の不要不急の外出抑制や広域迂回を強く呼びかけ。
- ・ 冬用タイヤ・チェーン等の装着を範囲を拡大して要請。

【テレビCMによる県民へのお願い】

除雪作業への協力のお願いや積雪時の注意事項などをテレビCMで放映し、円滑な冬季交通を確保

- ・ 除雪時の作業音にご理解ください。
- ・ 除雪の妨げになる路上駐車はおやめください。
- ・ 玄関先の雪かきは各家庭でお願いします。
- ・ 車道への雪出しはおやめください。

「こどもまんなかアクション」 リレーシンポジウム in とっとり

子どもが意見を出し合い、アイデアを考え、行動することの大切さを考えるシンポジウムを開催

12月22日（日）米子コンベンションセンター

【テーマ】子どもの力がミライを変える！子どもが主役の鳥取県

・オープニングアクト（米子松蔭高校ダンスパフォーマンス）

・子どもミーティング活動報告

参加児童・生徒が仲間と一緒に考えた学校や社会が良くなるアイデアを発表

⇒ 学校に持って行ける機能的なシャープペン

ご当地カニバス計画(空港バス内にカニの身を出す装置を設置し産品PR) など

・ゲストによるトークショー（元女子バレー日本代表 木村沙織さん） など

拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子

拉致問題に対する県民の関心を高め、拉致問題の早期解決を促進することを目的に、政府、関係市町、拉致議連等と共催で開催します。

11月24日（日）国際ファミリープラザ 14:00～16:00

- ・ 拉致被害者御家族の訴え
- ・ 講演「拉致問題こそ 金正恩政権のアキレス腱」
講師 李 相哲 氏（龍谷大学教授）
- ・ 高校生のメッセージ

※国民のつどい開催前に、政府高官による松本京子さんの拉致現場視察、政府への要望活動を実施。

「若鳥丸」の事故発生に対する再発防止

11月11日（月）に県立境港総合技術高校所有の「若鳥丸」が航海実習中に厨房で出火。

※乗員42名(海洋科第2学年24名、教職員2名、乗組員16名)に被害なし

- **原因** 厨房の電熱コンロに油の入った鍋をかけ、職員が目を離した間に出火。
- **生徒、保護者対応**
16日(土)に保護者説明会を開催、生徒の海技士の資格取得に必要な乗船履歴には影響ないことと、心のケア等にしっかり取り組むことを説明。
- **修繕の方針**
本日、保険会社が被害内容を現地調査。来年度の航海実習に間に合うように修繕を完了する必要がある、以下のスケジュールを想定。

	R6	R7						
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
損傷機器点検委託	←→							
定期修繕		←→						
臨時修繕				←→				
実習航海						←→ 1年生 (4日間)	←→ 2年生 (30日間)	

- **再発防止策**
新たに安全点検チェックシートを作成し、調理毎に安全確認を徹底、併せて、スプリンクラーの設置など安全性の高い設備整備を検討。
(設備の検討例)
「自動消火設備」
厨房ダクトに設置されたセンサーが異常温度上昇を感知すると、フード内部のノズルから自動で消火剤が噴出され消火



自動消火設備(イメージ)

追悼 谷川俊太郎先生

心から哀悼の意を捧げます

平成29年、エシカルソング「お金名人」の詩を寄贈いただきました

お金の力よく考えて
お金の行方よく見守って
お金の迷子にならないように
どこから来たの どこへ行くの
円 ドル にフランにポンド
どこから来たの どこへ行くの
お金の迷子にならないように
どこから来たの どこへ行くの
円 ドル にフランにポンド
どこから来たの どこへ行くの

『お金名人』

谷川俊太郎



エシカルソング「お金名人」
<https://www.youtube.com/watch?v=IZkle-HWyK8>

冬のカニシーズン到来！

「蟹取県ウェルカニキャンペーン」メディア発表会



アンバサダー「ゆりやん蟹取イバア」さんと一緒に
カニの都「カニウッド」をPR

食パラダイス鳥取県「カニウッド宣言」
～名優（松葉がに・ベニズワイガニ）や
名作（カニ料理）が集う、カニの都「カニウッド」～

- アンテナショップのカニグルメフェアの紹介
- 県内でカニ料理を楽しめるお店を紹介する「蟹バル」第2弾の紹介

12月上旬

宿泊&応募で毎月100名に鳥取の旬のカニが当たる
キャンペーンも絶賛実施中！
冬の「カニシーズン」にぜひ鳥取へお越しください！

デフリンピック東京大会 韓国選手団の合宿候補地視察

- 第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025の事前合宿に向け、県内体育施設を視察（11/23.24）

【視察団】

- 龍仁大学校体育科学大学学長 キム・ギホン氏
- 韓国パラリンピック委員会(KPC) 理事 イ・ジェウォン氏
- KPC利川選手村次長 パク・ジョンヒョン氏 ほか

【視察施設】

- 西部（鳥取県立武道館、米子産業体育館、皆生市民プール等）
- 東部（県民体育館、鳥取産業体育館、鳥取市民体育館、スターボウル等）

（参考）【2022夏季デフリンピック・ブラジル大会の韓国選手団】

選手80名、役員70名 計150名

陸上、バドミントン、柔道、水泳、卓球、テコンドー、サッカー、射撃、ボウリング



祝 特急スーパーはくと運行30周年 & 初の由良延伸ツアー催行！



12月1日（日）特急スーパーはくと号
が初めて由良駅（コナン駅）まで延伸！
コナンに会えるまち・北栄町まで
京阪神から乗り継ぎなしでお越しの
お客様をお出迎えます。

12月3日（火）智頭急行開業・
特急スーパーはくと運行開始30周年！

鳥取駅で記念セレモニーを実施し、スーパーはくと1号でお越しのお客様を
しゃんしゃん傘踊りや記念品配布等により出迎えます。

